

## 市町村の公共施設の老朽化状況と施設規模

### 有形固定資産減価償却率と住民一人あたり資産額

各市町村において整備された固定資産台帳データを用いて、施設類型ごとに、各市町村の公共施設の老朽化の状況をグラフで表しています。また、住民一人あたり資産額を組み合わせることで、施設の規模を団体間で比較できるようにしています。

※平成30年12月1日現在でデータがある府内10市町について分析。

※固定資産台帳データは平成29年3月31日時点。

※一部の施設類型において、対象施設がない等の理由により、データがない市町があります。

#### 用語解説

##### ■有形固定資産減価償却率

有形固定資産のうち、土地以外の償却資産(建物や工作物等)の取得価格に対する減価償却の割合です。この比率が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多いことを示します。資産の取得からどの程度経過しているかを把握することができ、公共施設の再編等を行う際に参考となる指標です。

ただし、長寿命化対策により使用可能期間が延びた場合でも、比率に精緻には反映されないため、この比率が高いことが直ちに施設が使用できないことを示すものではないことに留意が必要です。

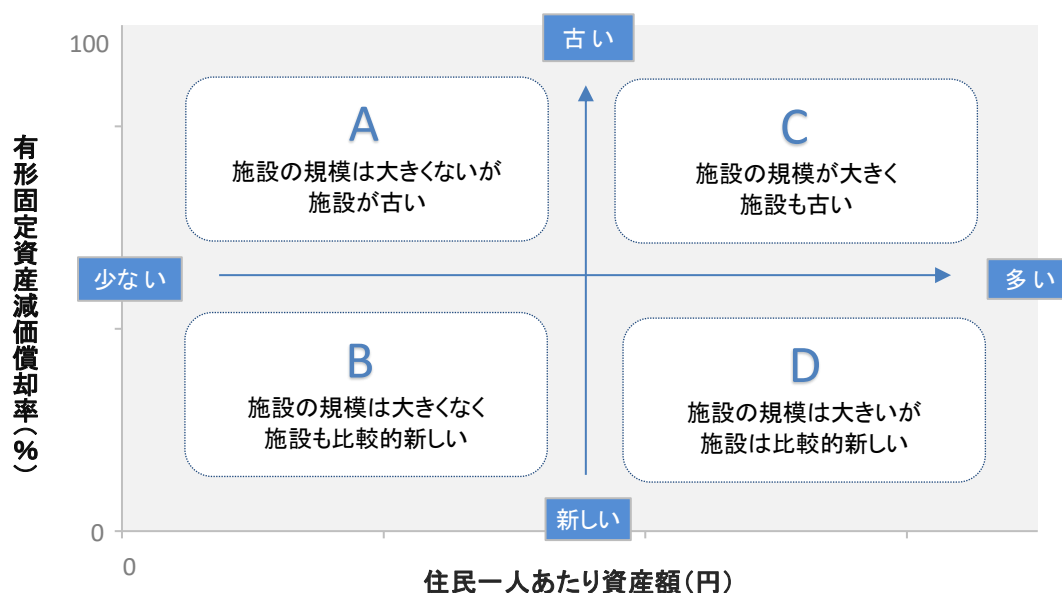
##### 算定式

$$\text{有形固定資産減価償却率} = \frac{\text{減価償却累計額}}{\text{有形固定資産合計} - \text{土地等の非償却資産} + \text{減価償却累計額}}$$

##### ■住民一人あたり資産額

施設ごとの有形固定資産額を各市町村の人口(平成29年1月1日現在の住民基本台帳人口)で除したものです。

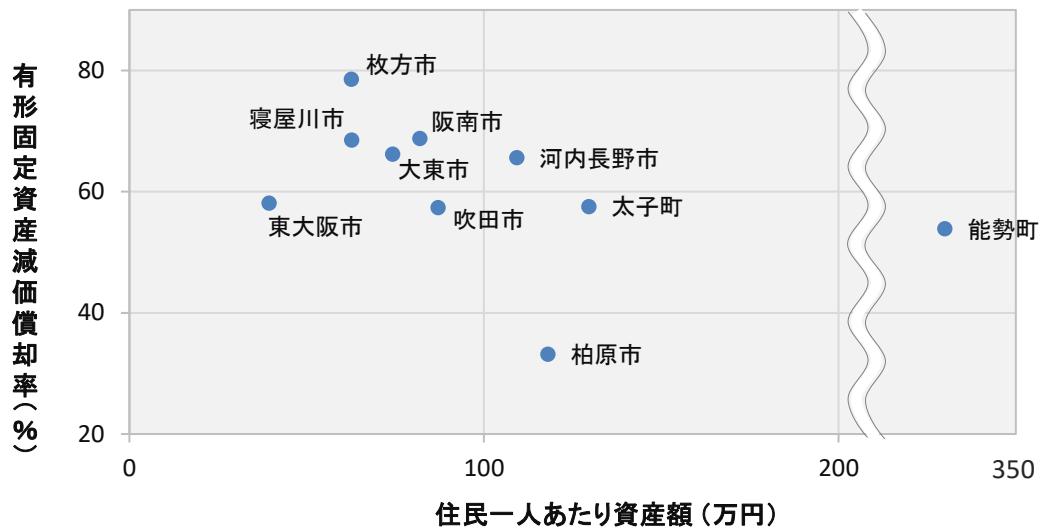
#### 組合せ分析の例



## 公共施設の特徴と検討課題の例

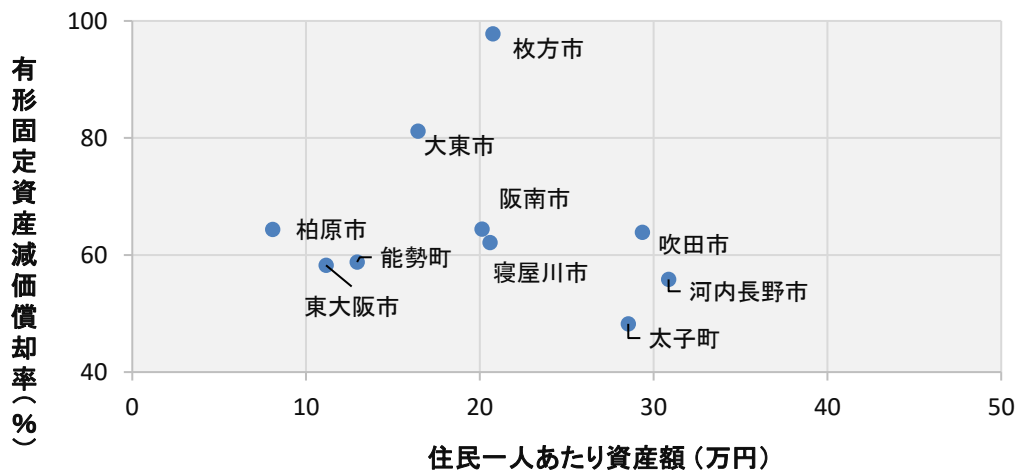
- A 施設の規模は大きくない [が] 古い ⇒ **施設更新を検討** (老朽化施設の建替えを検討すべきです)
- B 施設の規模は大きくない かつ 新しい ⇒ **追加施設も視野** (新增設も視野に入れた検討が可能です)
- C 施設の規模が大きい かつ 古い ⇒ **統廃合を検討** (統廃合の検討など早急な対応が必要です)
- D 施設の規模は大きい が 新しい ⇒ **コスト削減を検討** (維持管理費の縮減を検討すべきです)

## 所有資産全体

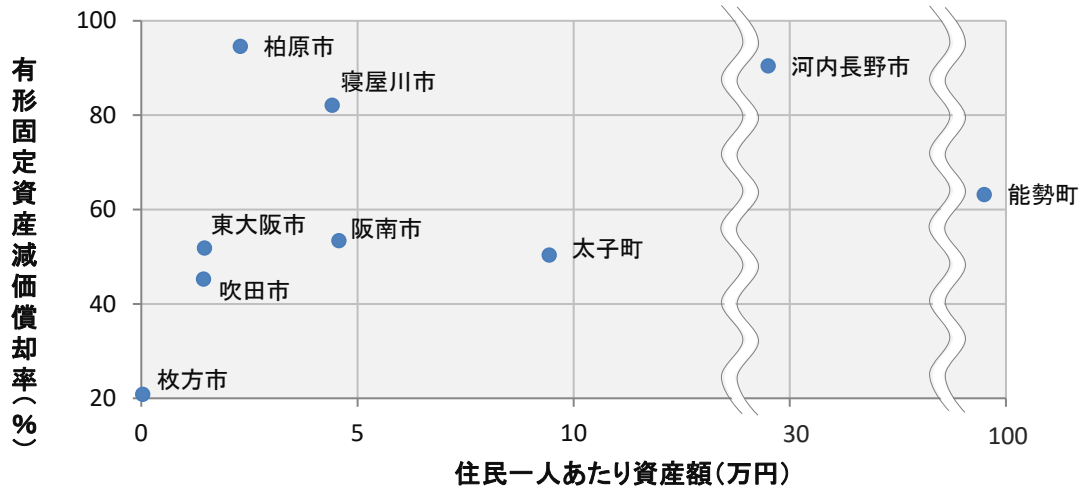


## 施設類型別

### 道路

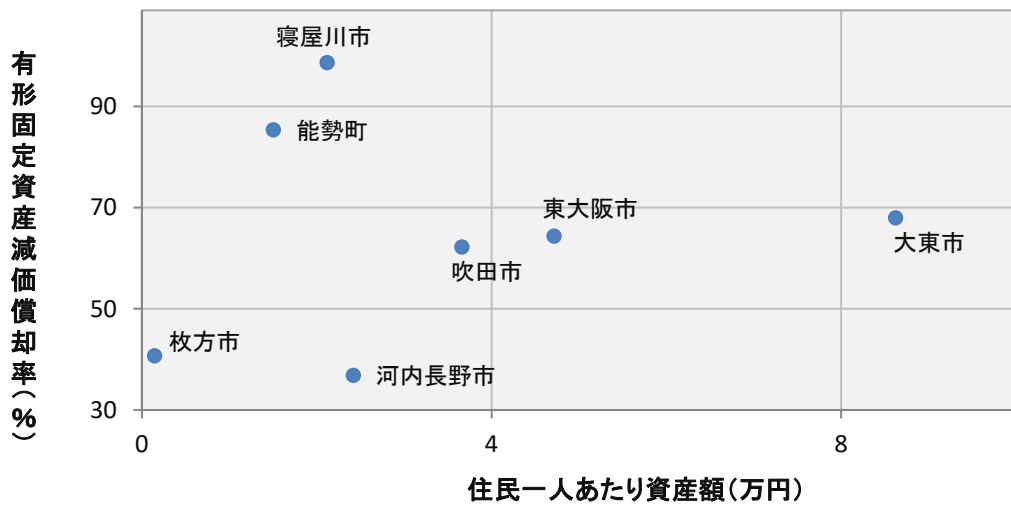


## 橋りょう・トンネル



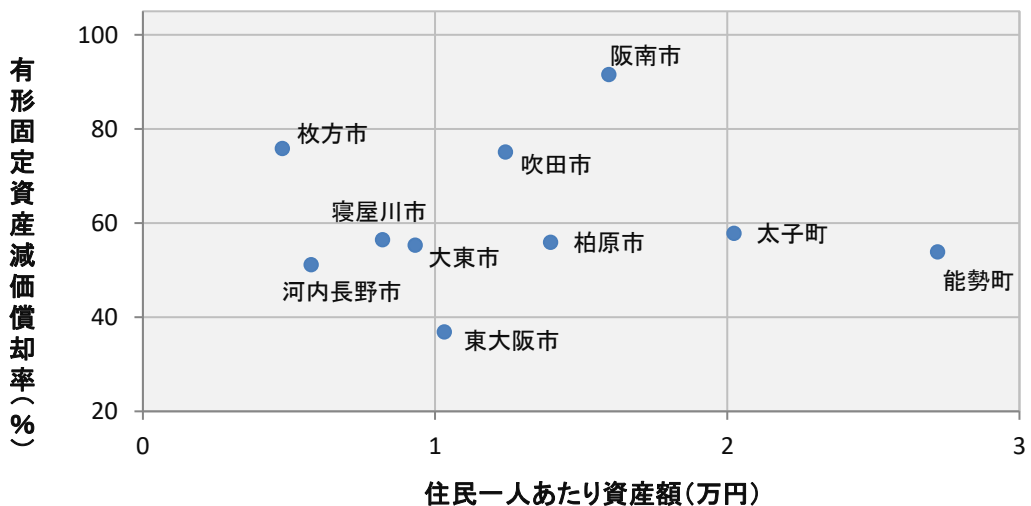
(\* 大東市はデータなし)

## 公営住宅

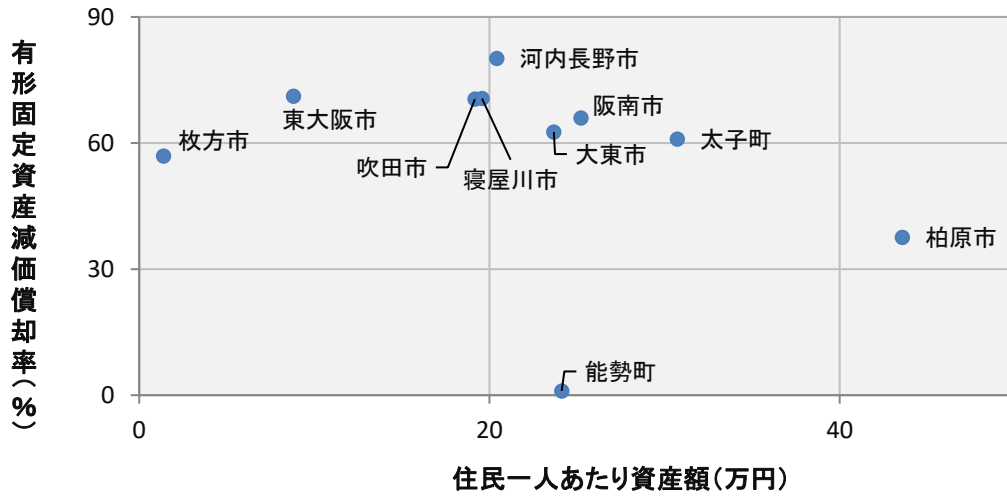


(\* 柏原市・能勢町・太子町はデータなし)

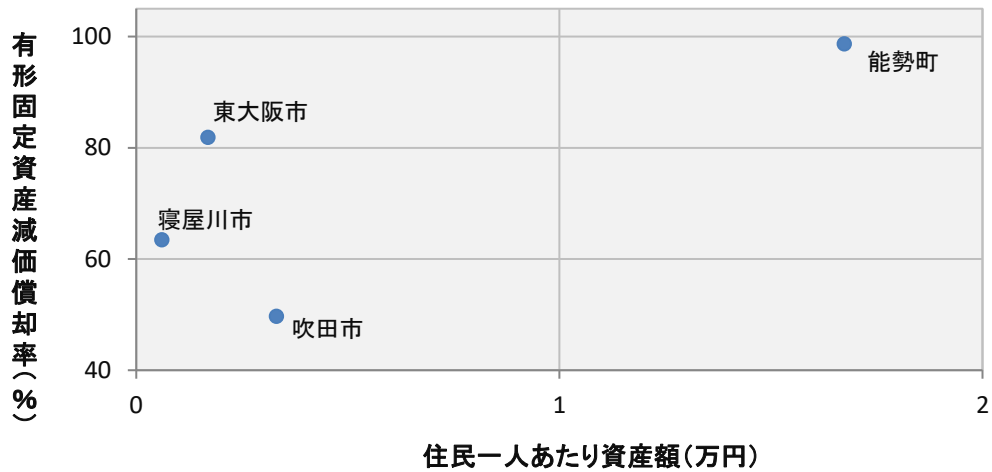
## 認定こども園・幼稚園・保育所



## 学校施設

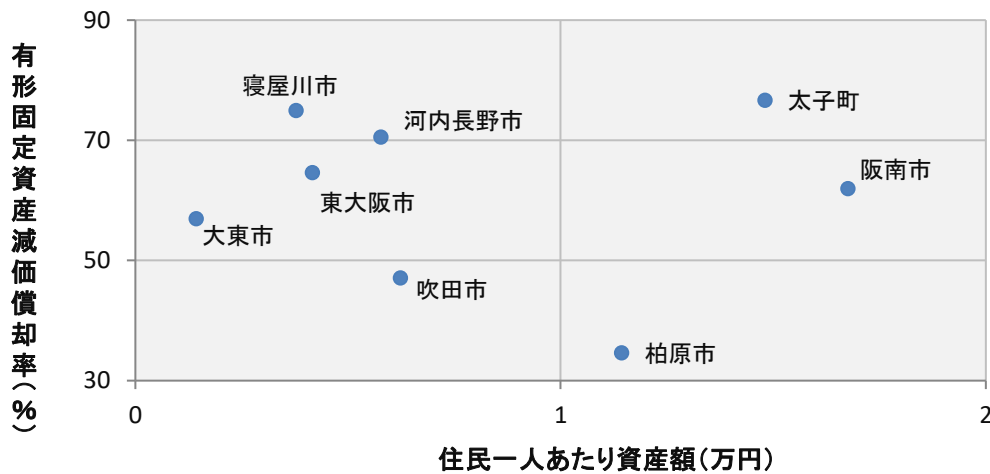


## 児童館



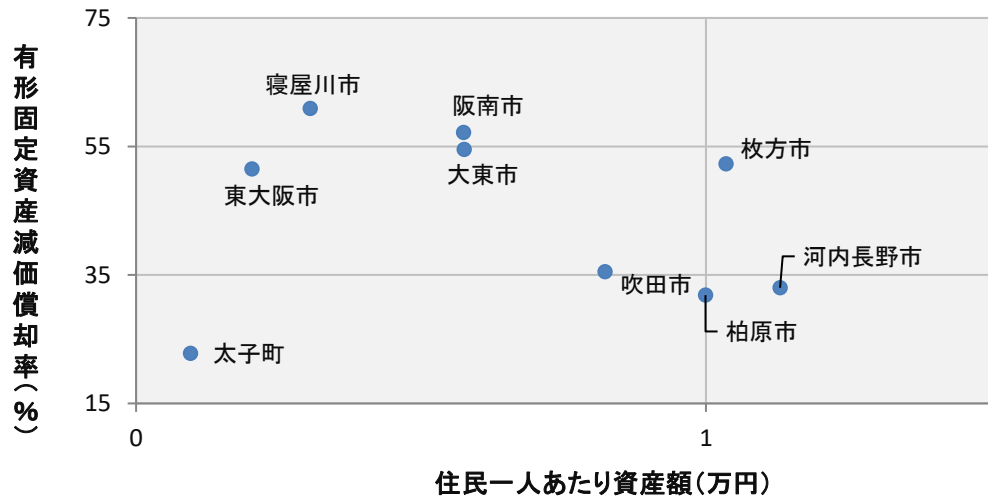
(\* 枚方市・河内長野市・大東市・柏原市・阪南市・太子町はデータなし)

## 公民館



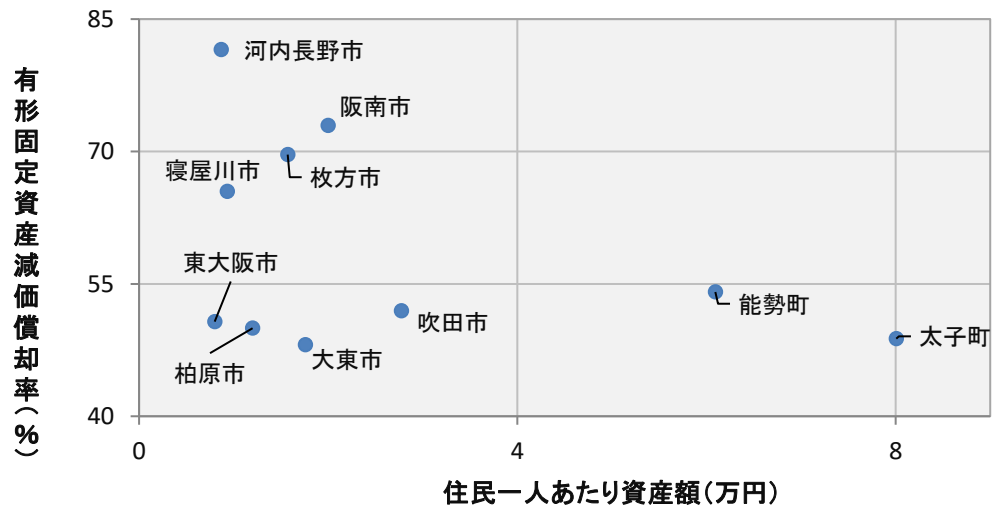
(\* 枚方市・能勢町はデータなし)

## 図書館

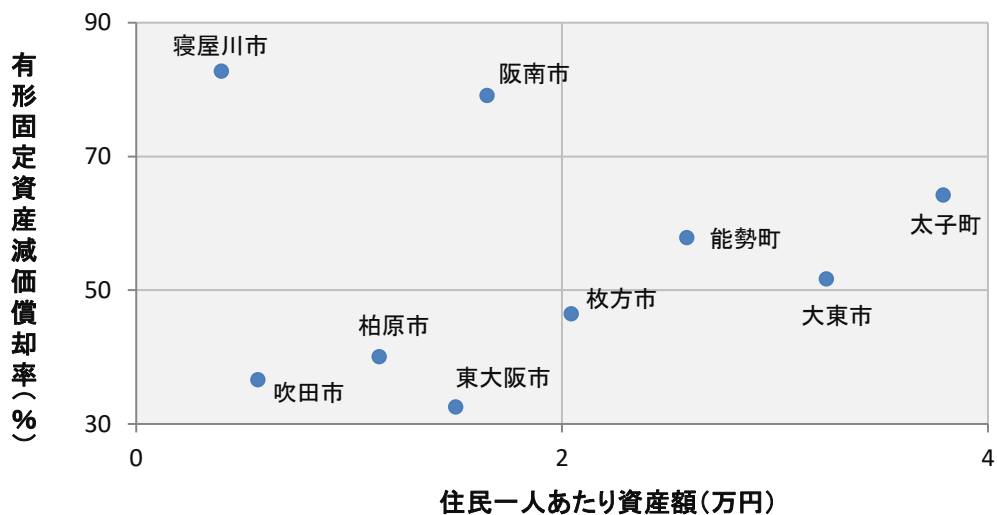


(\* 能勢町はデータなし)

## 体育館・プール

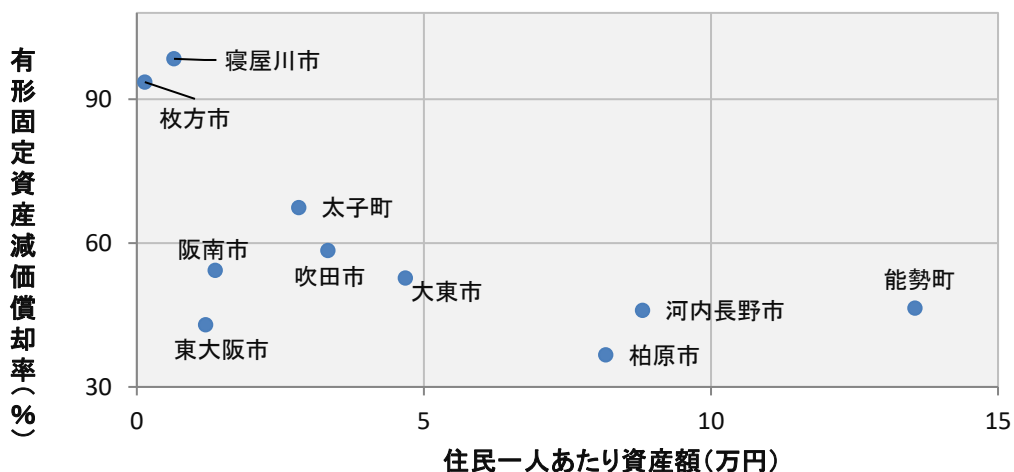


## 福祉施設

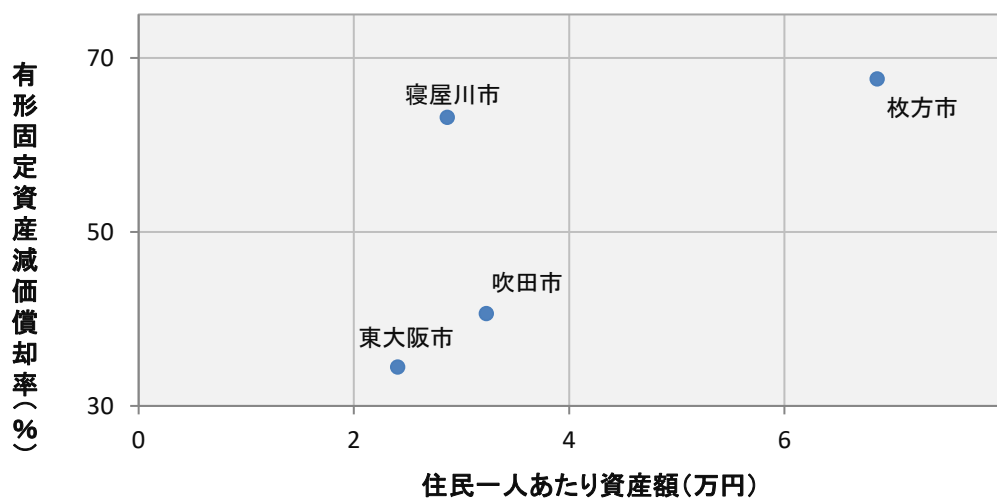


(\* 河内長野市はデータなし)

## 市民会館

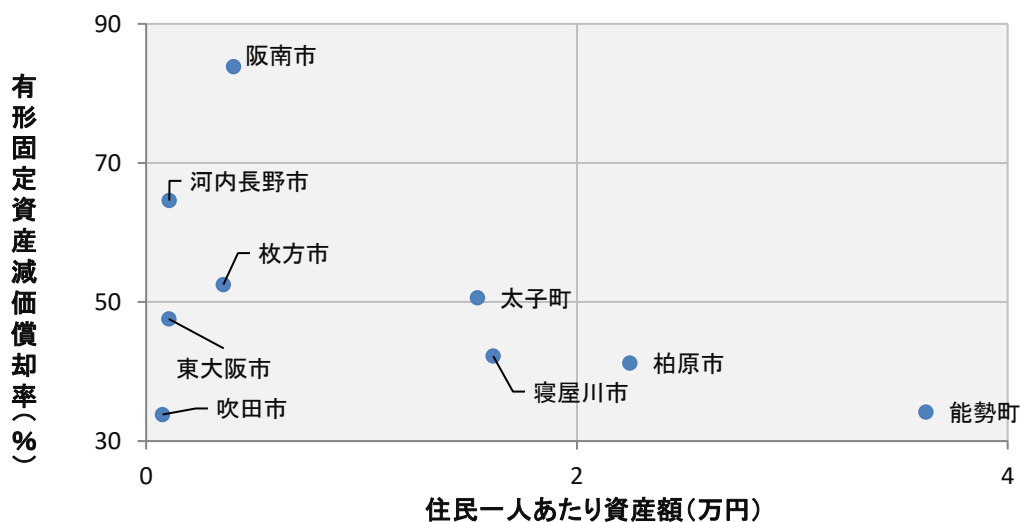


## 一般廃棄物処理施設



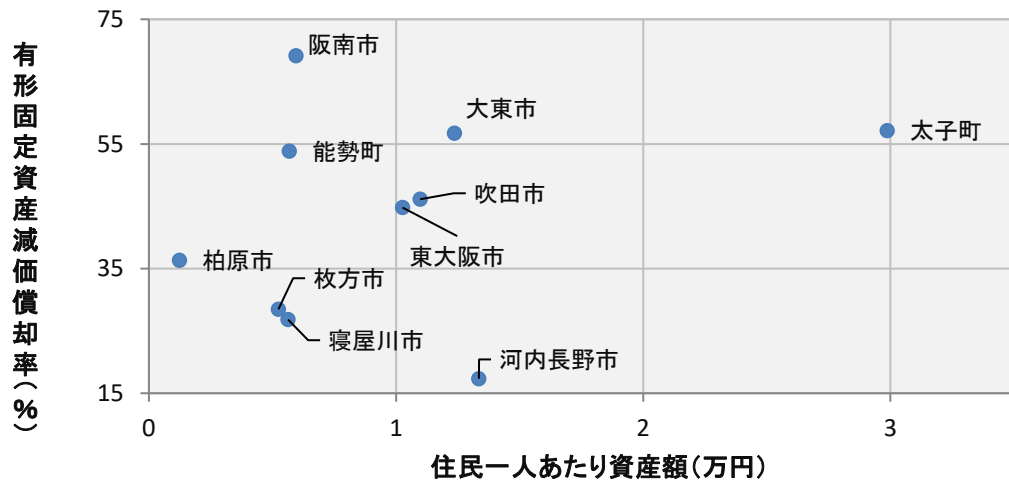
(\* 河内長野市・大東市・柏原市・阪南市・能勢町・太子町はデータなし)

## 保健センター・保健所



(\* 大東市データなし)

## 消防施設



## 庁舎

